

道の駅やちよ・八千代ふるさとステーションのリニューアルに係る
サウンディング型市場調査の結果概要

1 調査の対象

リニューアル整備後の道の駅やちよ・八千代ふるさとステーション及び当該施設を中心・関連した周辺地域

対象施設	道の駅やちよ・八千代ふるさとステーション
所在地	千葉県八千代市米本4905-1

2 調査の目的等

道の駅やちよ・八千代ふるさとステーションは、県内3番目に登録された「道の駅」であり、施設内に併設された市内産の農産物等を販売する農産物直売所、市内酪農家による搾りたての牛乳で作るアイスクリームの販売、及び千葉県の特産品を用いたレストラン等は、国道16号の道路利用者はもとより、市民にも広く利用されています。

また、平成25年には、新川を挟んだ対岸に農業体験等を通じて農業に対する理解や関心を深めること等を目的とする「やちよ農業交流センター」が開設し、平成27年2月末より2つの施設を併せて「道の駅やちよ」としました。

また、印旛沼流域の総合的な利活用の推進に向けて、新川沿川地域と連携した水辺の魅力向上と賑わい創出の拠点として「八千代橋水辺拠点」の整備を進めているところです。

こうした中、令和3年6月に国土交通省の「道の駅」第3ステージの取組である「防災道の駅」に「道の駅やちよ」が選定されたことを受け、八千代市では単なる防災施設の強化整備のみではなく、平常時の更なる賑わいを創出するため、開設から約26年が経過し老朽化や狭隘化等が課題となっている「道の駅やちよ・ふるさとステーション」をリニューアルすることとしました。

現在、道の駅やちよ・八千代ふるさとステーションのリニューアルに係る基本設計の概要が概ねまとまったことから、民間事業者との対話を通じ、様々なアイデアやノウハウ等を活かした有効な活用方法や市場性の把握、諸条件の整理を行い、今後策定する管理運営方針等の参考とするため、サウンディング型市場調査を実施しました。

3 市場調査の実施スケジュール

令和5年 8月10日(木)	市場調査の実施について公表
令和5年10月16日(月)	市場調査(対話)の実施
令和5年10月25日(水)	

4 市場調査参加者

2者

5 提案・意見等の概要の公表について

サウンディング型市場調査実施結果の概要公表につきましては、参加2者の他道の駅の運営ノウハウ等が多分に含まれていたことや、今後、実施する「次期指定管理者の公募・事業者からの提案書等」への影響が想定されることなどから、対話項目ごとの公表は控えさせていただきます。

なお、参加2者からは、「賑わいの創出」に向けた、店舗3スペースやエントランスホール等のより具体的な利活用方法やその他、多種多様なご提案をいただきました。

また、この度の施設のリニューアルにより、「道の駅やちよ」の魅力の向上が図られ、「さらなる賑わいの創出」に繋がること。さらに当該施設は、国道16号線沿いという立地的な優位性や、新川の両岸に施設があることなど、多くの可能性・潜在能力があるなどのご意見をいただきました。

6 今後の予定

今後、いただいたご提案・ご意見等を参考に「道の駅やちよ・八千代ふるさとステーションのリニューアルによる『さらなる賑わいの創出』等を図るための運営方針」の策定に向けた検討を進め、その後の指定管理者の公募に繋げてまいります。